眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんとそのご家族の方へ

当科では,下記の研究を実施しています。この研究は,愛知医科大学医学部倫理委員会において,ヘルシンキ宣言の趣旨に添い,人を対象とする医学系研究に関する倫理指針,ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し,医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は,対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく,研究内容の情報を公開し,研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし,この研究に関するお問い合わせなどありましたら,以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

RU .	
研究課題名	鼻涙管下鼻道開口部の形状に関する調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用す	非該当
る学外の研究機関	
名・研究責任者名	
研究の意義・目的	鼻涙管は涙道の一部であり、涙嚢から連続し、下鼻道に開口します。胎児期
	の鼻涙管の形成過程の違いによって、鼻涙管の下鼻道開口部の形状にバリ
	エーションが生じると考えられています。これまで様様な人種で下鼻道開
	口部の形状の研究されていますが、生体で調べられたのは白人の研究の 1
	報のみで、日本人の生体内で調べられたことがありません。本研究では、日
	本人における鼻涙管の下鼻道開口部の形状のバリエーションを調べるこ
	と、その形状に人種差があるかを調べることを目的としています。本研究に
	よって、形状の人種差が明らかとなる上に、結果次第では鼻涙管閉塞症の解
	剖学的原因の解明の手掛かりになる可能性があります。
対象となる患者さん	2018年3月から2019年6月までに、鼻涙管閉塞に対し、涙嚢鼻腔吻合術
	を受けた患者さん。
研究の方法	診療情報とこれまでの手術動画から、鼻涙管の下鼻道開口部の形状を調べ
	ます。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021年1月31日
研究に用いる試料・	情報:年齢、性別、術側、手術動画など
情報	
外部への試料・情報	なし
の提供	
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は , 2020 年 12 月
は提供を希望しない	31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
場合	
その他	なし
-	

問い合わせ先

愛知医科大学病院

眼形成・眼窩・涙道外科 担当者:准教授 高橋靖弘

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 12314)